別記様式第3号－別紙4

飼養区分「飼料受託等」参加申請時添付書類（購入方式、リース方式共通）

畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）

飼養区分「飼料受託等」申請内容

|  |
| --- |
| 取組主体名  （住所） |

（リース方式で貸付主体から借受を行う場合は、借受を行う取組主体名及び住所を記載。）

１　機械装置の導入を行う飼料生産組織の概要

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 名称 | 組織形態 | 所在 | 資本構成・比率 | 事業内容 | 沿革 | 役員の氏名 | その他 |
|  |  |  | （%） |  |  |  |  |

（注）作業機械の導入をする者と運営主体が異なる場合は、運営主体の概要をこれに準じて作成すること。

２　取組主体の区分について（該当する箇所に〇印を付けてください。）

|  |  |
| --- | --- |
|  | （１）ＴＭＲセンター |
|  | （２）コントラクター |
|  | （３）（１）、（２）以外（具体名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

（注）経営を法人化する場合は、実施予定年度を明記してください。

３　取組主体要件（次の（１）から（３）までのいずれか該当するものを記載してください。）

（１）飼料生産受託面積・飼料生産作業面積

　 アには作業を受託している面積を、イには自ら生産している面積を記入してください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 年度  （ｱ） | 年度  （ｲ） | 年度  （ｳ） | 3年間平均  （ｴ） | 目標年度計  画（　年度）  （ｵ） | 拡大面積  （ｵ－ｳ又はｴ） |
| ア 受託面積 | （　　 ） | （　　 ） | （　　　） | （　　　） | （　　　） | （　　　） |
| イ 生産面積 | （　　 ） | （　　 ） | （　　　） | （　　　） | （　　　） | （　　　） |
| 合計 | （　　 ） | （　　 ） | （　　　） | （　　　） | （　　　） | （　　　） |

（注１）二期作や二毛作により、同じほ場で２回以上飼料生産を行う場合は、（　）内に、延面積を記載してください。

（注２）ア及びイのいずれの面積についても、明細（作業の種類（作付・収穫等）毎の面積）を添付してください。

（注３）（ア）から（ウ）には直近前年度までの３年分、（オ）には事業実施年度から３年度目を記載してください。

（２）導入した機械装置による収穫量の向上

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 作付品目 | 年  度  （ｱ） | 年  度  （ｲ） | 年  度  （ｳ） | 3年間  平均  （ｴ） | TDN重  量換算  率  （ｵ） | TDN  重量  （ｶ） | 目標年度計  画（　年度）  TDN重量ﾍﾞｰｽ  （ｷ） | 増加率  (ｷ)/(ｶ) |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（注１）作付品目は、導入する機械装置に該当する草種等を記載してください。

（注２）（ア）から（ウ）には直近前年度までの３年分、（キ）には事業実施年度から３年度目を記載してください。

（３）ＴＭＲ原料（ＴＤＮ重量ベース）の内訳

ア　粗飼料を調製する場合

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 原料の種類  （粗飼料） | | 原料の重量 | | 粗飼料の  TDN重量換算率 | | 粗飼料の  TDN重量 | | 粗飼料地域内自給率  ①／③ | | |
| 現状 | 目標年度 | 現状 | 目標年度 | 現状 | 目標年度 | 現状 | 目標年度 | 増減 |
| 単位 | | t | t | % | % | t | t | % | % | ポイント |
| 地  域  内 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 小計① |  |  |  |  |  |  |
| 地  域  外 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 小計② |  |  |  |  |  |  |
| 合計 ③＝①＋② | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

イ　濃厚飼料（飼料用米、子実用トウモロコシ等）を調製する場合

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 原料の種類  （濃厚飼料） | | 原料の重量 | | 濃厚飼料の  TDN重量換算率 | | 濃厚飼料の  TDN重量 | | 濃厚飼料地域内自給率  ①／③ | | |
| 現状 | 目標年度 | 現状 | 目標年度 | 現状 | 目標年度 | 現状 | 目標年度 | 増減 |
| 単位 | | t | t | % | % | t | t | % | % | ポイント |
| 地  域  内 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 小計① |  |  |  |  |  |  |
| 地  域  外 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 小計② |  |  |  |  |  |  |
| 合計 ③＝①＋② | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（注：ア、イ共通）

１：原料の種類は、粗飼料、濃厚飼料毎に、（地域内：クラスター内の取組、地域外：クラスター外の取組（流通飼料等））に区分して記載すること。

２：粗飼料及び濃厚飼料におけるＴＤＮ重量は、実測値又は「日本標準飼料成分表（2009年版）」の飼料成分表等から推計して算出すること。なお、推計の方法がわかる資料を添付すること。

３：ＴＭＲ原料となる地域で生産される粗飼料の自給率が、機械装置の導入の後に現状の自給率より、次の基準を上回る計画であること。

（１）粗飼料を調製する場合【粗飼料自給率を基準とする】

ア　現状値が80%未満　　　　　　 ５ポイント

イ　現状値が80%以上～85%未満　　４ポイント

ウ　現状値が85%以上～90%未満　　３ポイント

エ　現状値が90%以上～95%未満　　２ポイント

オ　現状値が95%以上　　　　　　　増加すること

カ　現状値が100%　　　　　　　　 維持すること

（２）濃厚飼料（飼料用米等）を調製する場合【濃厚飼料自給率を基準とする】

ア　現状値が10%未満　　　　　　 ３ポイント

イ　現状値が10%以上15%未満　　　２ポイント

ウ　現状値が15%以上20%未満　　　１ポイント

エ　現状値が20%以上　　　　　　　増加すること

※粗飼料と濃厚飼料を調整する場合は、（１）及び（２）の基準の双方を満たすこと。

４　簡易飼料保管庫等について

コンテナ、簡易飼料保管庫を希望する場合は次について記述してください。

（１）設置目的

|  |
| --- |
|  |

（２）面積の算出根拠

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 延床面積 | ㎡ | 算出根拠 | 保管する飼料の種類／数量：  ／ ｔ |